石巻専修大学

●「石巻専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

地域社会に貢献する人材育てる

理工学部 と 人間学部人間文化学科 を改組

学修環境の充実目指す

本学は、社会知性で地域社会を支える「地域に根ざして世界に尖った大学」を目指し、今後10年を見据えた「中長期ビジョン」に基づく大学改革を持続的に進めている。今年度実施した経営学部の改組に続き、2022年4月に理工学部と人間学部の教育課程を再編する。

理工学部は、既存の生物科学科と食環境学科を発展的に統合し、さまざまな環境に生息する生物の構造や機能をミクロからマクロレベルにおいて解明する生物科学科を新編する。新・生物科学科は「海洋生物・環境」「動物・植物」「微生物・生命分子」「自然科学」の4コースからなり、学生は1年次からコースに所属して、より専門的な学修を行う。

機械工学科と情報電子工学科では、両学科が融合した新たな学びがスタートする。具体的には次世代エンジニア育成プログラムや学科横断PBL、プロジェクト実習など両学科の知識を活用できるプログラムを新設し、Society5・0やSDGsにも対応できる次世代に向けた教育研究活動を実践する。

人間学部人間文化学科では、現行の四つの履修モデルを「異文化理解・芸術文学」「地域社会支援」の二つのコースに集約。学生が明確な意義を持って専門分野の学修ができる体制を整える。

本学は、建学の精神や理念を具現化するための教育研究活動を推進し、学修環境のさらなる充実化を図ることで「社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材」の育成に取り組む。

理工学部の新コース

生物科学科
- 海洋生物・環境コース
- 動物・植物コース
- 微生物・生命分子コース
- 自然科学コース

POINT
- ◎1年次からコースに所属
- ◎東北の私大で唯一、生物科学を総合的に学べる
- ◎石巻の豊かな自然に学ぶ

機械工学科
- 機械創造コース
- 自動車コース

情報電子工学科
- 情報通信コース
- 電気電子コース

POINT
- ◎機械工学科で「情報通信技術」を学べる
- ◎情報電子工学科で「機械工学」を学べる
- ◎プロジェクト活動で学びを還元

人間文化学科の新コース

- 異文化理解・芸術文学コース
- 地域社会支援コース

POINT
- ◎二つのコースで体系的に人間文化を学ぶ
- ◎課題解決型の科目を多数実施
- ◎中・高校教諭の一種免許、学芸員資格を取得可能

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

一丸となって戦った部員たち

第70回全日本大学野球選手権記念大会

硬式野球部 粘り強く戦い抜く

日本大学工学部との優勝決定戦に勝利し、春季リーグ戦を制した本学硬式野球部が南東北大学野球連盟代表として、6月7日に開幕した全日本大学野球選手権大会に出場した。今年は第70回の記念大会で、本学の出場は4年ぶり5回目。

明治神宮野球場で行われた開幕試合で、本学は阪神大学野球連盟代表の天理大学と対戦した。初回、1番の小川泰世さん（経営2・宮城県東陵高）がヒットで出塁しチャンスをつくるも、あと一本が出ず無得点に終わると、その裏に天理大に3点を先制された。失点以降は、先発の齋藤智哉さん（経営4・山形県米沢中央高）をはじめ5人の投手リレーで互角の戦いを見せたが、八回に再び天理大打線につかまり4失点。0―7でコールド負けした。

力投した先発の齋藤さん

選手たちは最後まであきらめず、粘り強く戦い抜き、東日本大震災から10年となった石巻に勇気と活力を届けた。

門脇瑠太主将（経営4・山形県九里学園高）は大きな声援に感謝の言葉を述べつつ、「チーム一丸となり、最後まで全力でプレーをすることができました。来年もこの舞台でプレーできるよう、後輩たちには頑張ってもらいたい」と話した。

酒井健志監督は「序盤の失点が最後まで響いた。しかしながら、選手たちは最後まであきらめない姿勢を見せてくれた」と選手たちの奮戦をたたえた。

2年連続世界大会へ

ロボット研究会 国内予選を突破

ロボット研究会の「ROGERIO」チームが、4月25日に開催された第12回国際イノベーションコンテスト（iCAN'21）の国内予選大会で参加12チーム中4位となり、2年連続で世界大会の出場権を獲得した。

iCAN'21は、MEMSデバイス（小型センサー）を用いたアプリケーションを提案・試作し、その成果を競う国際コンテスト。今野優さん（理工4・宮城県利府高）、佐藤匠さん（理工4・岩手県岩谷堂高）、柴田陽平さん（理工3・山形県山形工業高）の3人は、自動車のスリップ事故を防ぐ「路面状況検出システムⅡ」を開発した。昨年度のiCAN'20で発表した作品に改良を加え、凍結検出の精度を高めたほか、実走行を想定したシステムを実装した。

研究会代表の今野さんは「社会に役立つ〝ものづくり〟を意識して大会に参加した。世界大会に向けては、ブラックアイスバーンと呼ばれる路面凍結の検出精度をさらに高めながらシステムの改善を目指す。地元である女川や石巻に良いニュースを届けたい」と抱負を述べた。

指導した水野純教授は「予選大会で高い評価を得た技術力を、世界大会でも存分にアピールして優勝をつかみ、本学の強さを世界に発信したい」と語った。

賞状を手に笑顔の今野代表（右）と水野教授

システムを実装したカート

中国・東北電力大とオンライン講義

荘子の人物像と思想学ぶ

国際交流協定校である東北電力大学（中国・吉林省）外国語学部日本語学科の崔丹楓氏によるオンライン講義「荘子の思想について――『斉物論』を中心に――」が5月20日に行われた。

同講義は、人間学部の輪田直子教授による「中国文学論」の授業内で実施された。冒頭で崔氏は、荘子の話は日本の『今昔物語集』にも多く登場すると説明。その後、実例を示しながら荘子の人物像や思想について解説した。

講義後は、学生から「荘子の思想は当時の人々に受け入れられていたのか」などの質問が相次いだ。

聴講した佐藤佳乃さん（人間3・山形県酒田南高）は「説明が分かりやすく、高校の授業で習った荘子の格言の意味もより深く知ることができた。今回の講義は普段の生活でも生かせる内容だと感じた」と感想を述べた。

オンラインで行われた崔氏の講義

2021年度学生数

※5月1日現在

◆学部

学部	学科	人数
理工	食環境	51
	生物科	252
	機械工	106
	情報電子工	141
	小計	550
経営	経営	545
	情報マネジメント	25
	小計	570
人間	人間文化	144
	人間教育	131
	小計	275
合計		1,395

◆大学院

課程	研究科	専攻	人数
修士	理工学	物質工学	1
		生命科学	6
	経営学	経営学	2
合計			9

課程	研究科	専攻	人数
博士後期	理工学	物質機能工学	1
		生命環境科学	0
	経営学	経営学	0
合計			1